



2

公衆衛生 看護 支援技術

<執筆者一覧>

岸 恵 美 子	東邦大学大学院教授
渡 井 い ず み	浜松医科大学教授
村 山 洋 史	東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長
川 崎 涼 子	長崎大学准教授
加 倉 井 さ お り	ウェルネスライフサポート研究所代表取締役
大 木 幸 子	杏林大学教授
蔭 山 正 子	大阪大学大学院准教授
田 口 敦 子	慶應義塾大学教授
望 月 由 紀 子	東邦大学准教授
吉 岡 京 子	国立保健医療科学院上席主任研究官
平 野 か よ 子	宮崎県立看護大学学長
木 添 茂 子	宮崎県立看護大学看護研究・研修センター専門主幹
永 江 尚 美	島根県看護協会副会長

ポイント

- 個人・家族・集団の生活支援に必要な保健行動の理解（理論・モデル他）から、健康相談、家庭訪問、健康教育、グループ支援、健康診査・健診、地域アセスメント（地域診断）、地区活動、地域組織の育成・支援、地域ケアシステムの構築などの技術を具体的かつ実践的に記述しています。
- 公衆衛生看護管理の基本と実践について、わかりやすく解説しています。

Part 1 個人・家族・グループの支援

1章 社会の最小構成単位としての家族とそれを支える意味と保健師活動

2章 個人・家族の理解と対人支援の基本

- 1 個人の理解と健康課題への支援
- 2 家族の理解と健康課題への支援
- 3 対人支援の基本

3章 保健行動の理解

- 1 保健行動と行動変容に関する理論・モデル
- 2 健康段階別保健行動
- 3 目的別保健行動

4章 公衆衛生看護における対人支援の技術

- 1 健康相談の方法と実際
- 2 家庭訪問の方法と実際
- 3 健康教育の方法と実際
- 4 グループ支援の方法と実際
- 5 健康診査・検診の方法と実際

Part 2 地域組織・地域の支援、事業化と施策化

5章 地域保健活動の基本

- 1 地域保健活動の意味と意義
- 2 地域保健活動の方法
- 3 地域保健活動に用いられる理論・モデル

6章 地域アセスメント<地域診断>

- 1 目的
- 2 過程
- 3 方法
- 4 成果の見方

7章 地区活動

- 1 地区活動とは
- 2 目的
- 3 過程
- 4 方法
- 5 評価（成果の見方）

8章 地域組織の育成・支援

- 1 定義と対象
- 2 目的
- 3 過程
- 4 方法
- 5 評価（成果の見方）

9章 公衆衛生看護活動における

事業化と施策化の意味と意義

- 1 事業化・施策化の意味と意義
- 2 事業化・施策化のプロセスと推進のポイント,予算との関係性
- 3 評価（成果の見方）

10章 地域ケアシステムの構築

- 1 地域ケアシステムの概念と目的
- 2 各関係機関の統合とシステム構築過程
- 3 地域ケアシステムの運営と評価
- 4 地域ケアシステムにおける保健師の役割
- 5 評価（成果の見方）

Part 3 公衆衛生看護管理論

11章 公衆衛生看護管理の目的と特徴

- 1 公衆衛生看護管理の目的
- 2 公衆衛生看護管理の特徴

12章 公衆衛生看護管理の構造と機能

- 1 組織運営・管理の基本（含む：上位組織の理解）
- 2 事例管理
- 3 業務管理
- 4 予算管理
- 5 情報管理
- 6 人事管理

13章 専門的自律と人材育成

- 1 保健師教育
- 2 継続教育
- 3 専門的自律

※内容は予告なく変更となる場合がございます